



## 2024年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ

上場取引所 東

コード番号 9439 URL <https://mhgroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 半澤 勝己

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員経営企画担当 (氏名) 家島 広行

TEL 03(5411)7222

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第1四半期の連結業績(2023年7月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	473	0.5	0	93.8	3	77.1	4	
2023年6月期第1四半期	471	3.8	11		16		11	

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 0百万円 ( 98.0%) 2023年6月期第1四半期 15百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	0.39	
2023年6月期第1四半期	0.96	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	1,839	516	28.0
2023年6月期	1,841	516	27.9

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 514百万円 2023年6月期 514百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		0.00		0.00	0.00
2024年6月期					
2024年6月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	5.1	65	19.3	65	15.4	40	66.6	3.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期1Q	11,492,100 株	2023年6月期	11,492,100 株
期末自己株式数	2024年6月期1Q	48 株	2023年6月期	48 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期1Q	11,492,052 株	2023年6月期1Q	11,492,052 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限や水際対策の緩和が進み、さらに2023年5月には感染症法上の位置付けが5類へ移行され、社会経済活動も正常化へ向かったことで国内景気は持ち直しの動きとなりました。一方、長引くロシアウクライナ情勢に起因した資源価格の高騰、世界的なインフレ圧力などの世界経済の減速による下振れリスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、消費環境におきましては、外出機会の増加に伴い、個人消費に持ち直しの動きが続いているものの、物価上昇を背景とした節約志向の高まりも見られております。

当社グループが属する美容業界におきましては、サロンの来店客数は戻りつつある中で、コロナ禍での顧客ニーズの多様化などにより利用客の増加や顧客単価も上昇してきております。

このような状況のもと、当社グループにおきましても、お客様並びに従業員の安全確保を目的に、一定の感染防止策を継続し、既存事業においては経営効率の最適化を図り、安定したサービスの提供とともに、新たな収益の柱となる事業の創出に注力しております。

当第1四半期連結累計期間会計年度の売上高につきましては、直営サロン運営事業、美容室支援事業及びキャリアデザイン事業は堅調に推移し、前年同期に比べ増収となったため、全社としても前年同期に比べ増収となりました。営業損益及び経常損益につきましては、いずれも営業利益、経常利益となりましたが、前年同期に比べ売上原価が増加したこと、一時的な収益の減少に伴い、いずれも減益となりました。また、繰延税金資産の取り崩しによる影響もあり、親会社株主に帰属する四半期純損失となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高473,622千円（前年同期比0.5%増）、営業利益679千円（前年同期比93.8%減）、経常利益3,745千円（前年同期比77.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失4,526千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益11,008千円）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

#### (直営サロン運営事業)

日本全国に展開するBSサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン10店舗（モッズ・ヘアサロン9店舗、美容室セラヴィ1店舗）を展開しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、社会経済活動が正常化へ向かう中で既存店の業績は前年同期に比べ回復基調で推移し増収となりました。また、年々、美容師の人材の流動が高まっており、この先のアフターコロナ時代の競争力を高めるうえでも優秀なスタッフの確保に向けた取り組みに係る費用が先行していることから、セグメント利益は減益となりました。

当第1四半期連結累計期間の直営サロン運営事業の業績は、売上高236,958千円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益16,501千円（前年同期比3.9%減）となりました。

#### (BSサロン運営事業)

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。当第1四半期連結累計期間の店舗数の異動は、国内BSサロンの新規出店1店舗、韓国での閉店1店舗となりました。当第1四半期連結会計期間末日現在におきまして、国内40店舗、韓国12店舗、台湾2店舗及び中国4店舗の計58店舗となっております。BSサロン運営事業においては、プライベートブランド（PB商品）をはじめとした商品販売に注力しており、PB商品売上は堅調に推移しているものの、前年同期に比べBSサロンの稼働店舗数が減少したことが影響し減収減益となりました。

当第1四半期連結累計期間のBSサロン運営事業の業績は、売上高59,820千円（前年同期比18.6%減）、セグメント利益22,231千円（前年同期比16.5%減）となりました。

#### (ヘアメイク事業)

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間2,000件を超える媒体を手掛けるなど、国内及

び海外で高い評価を得ております。

ヘアメイク事業におきましては、メディア部門の業績は堅調に推移したものの、ブライダル部門の減収減益が大きく影響し、売上高92,319千円（前年同期比6.9%減）、セグメント利益868千円（前年同期比74.5%減）となりました。

#### （美容室支援事業）

当社グループでは、日本国内でのモッズ・ヘアサロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化したクレジット決済代行サービス、S C A T株式会社との提携による美容サロン向けPOSレジ顧客管理システムなどを一般のサロンに提供する美容室支援事業を行っております。また、美容室支援事業におきましては、先述しましたとおり、S C A T株式会社、ENECHANGE株式会社、提携各社の有するノウハウを活用し、理美容業界における持続可能な環境経営支援（SDGs）として環境配慮型メニューの開発並びに普及を進めております。

当第1四半期連結累計期間においては、美容室支援事業の主力であるクレジット決済代行サービスの契約件数は堅調に推移しており、売上高32,137千円（前年同期比13.5%増）、セグメント利益19,001千円（前年同期比12.4%増）となりました。

#### （キャリアデザイン事業）

2020年7月より人材派遣事業、人材紹介事業を営む株式会社オンリー・ワンを連結子会社化いたしました。当社グループでは、単に人材派遣事業、人材紹介事業と捉えず、キャリアデザイン事業として新たな成長戦略の柱として位置付けております。

当第1四半期連結累計期間においては、キャリアデザイン事業につきましては、当社グループに加わったスケールメリットを活かした販路の拡大が順調に推移し、現在注力しているタワーマンションを中心としたコンシェルジュの派遣等も、着実に件数を伸ばしております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、人材派遣事業は着実に成長しているものの、収益率の高い人材紹介売上が前年同期と比べ減少したことから、売上高73,078千円（前年同期比11.2%増）、セグメント利益3,755千円（前年同期比38.6%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,855千円減少し、1,839,083千円となりました。主な要因としましては、現金及び預金の減少4,093千円、商品の増加4,666千円、未収入金の減少3,835千円、のれんの減少3,854千円、投資有価証券の増加6,903千円、繰延税金資産の減少4,637千円などによるものであります。

### （負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3,159千円減少し、1,322,657千円となりました。主な要因としましては、買掛金の増加11,516千円、社債の減少7,000千円、借入金の減少4,955千円、未払金の増加25,046千円、未払法人税等の減少7,528千円、資産除去債務の減少19,149千円などによるものであります。

### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ304千円減少し、516,426千円となりました。主な要因としましては、親会社株主に帰属する四半期純損失4,526千円、その他有価証券評価差額金の増加4,830千円などによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の連結業績予想につきましては、2023年8月18日付「2023年6月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	606,542	602,448
受取手形及び売掛金	115,206	114,770
商品	65,525	70,191
未収入金	766,890	763,054
その他	19,465	24,513
貸倒引当金	△1,075	△1,093
流動資産合計	1,572,554	1,573,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	234,406	213,183
減価償却累計額	△197,629	△178,541
建物及び構築物(純額)	36,776	34,641
工具、器具及び備品	65,789	58,717
減価償却累計額	△54,918	△46,156
工具、器具及び備品(純額)	10,870	12,561
その他	5,431	5,037
減価償却累計額	△4,165	△4,409
その他(純額)	1,266	627
有形固定資産合計	48,914	47,830
無形固定資産		
のれん	55,580	51,725
ソフトウェア仮勘定	5,504	—
その他	1,358	5,989
無形固定資産合計	62,443	57,715
投資その他の資産		
投資有価証券	42,984	49,887
長期貸付金	32,208	32,208
関係会社株式	8,758	8,758
差入保証金	91,989	91,764
繰延税金資産	10,570	5,932
その他	7,472	7,100
貸倒引当金	△36,205	△36,155
投資その他の資産合計	157,778	159,497
固定資産合計	269,135	265,043
繰延資産		
社債発行費	248	155
繰延資産合計	248	155
資産合計	1,841,939	1,839,083

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,540	21,056
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	16,000	9,000
1年内返済予定の長期借入金	19,879	18,525
未払金	883,830	908,877
未払法人税等	11,735	4,207
未払消費税等	28,847	21,927
契約負債	23,721	23,925
賞与引当金	2,181	936
株主優待引当金	17,093	15,144
その他	45,439	50,754
流動負債合計	1,158,269	1,174,354
固定負債		
長期借入金	41,878	38,276
受入保証金	55,500	56,500
資産除去債務	26,325	7,175
退職給付に係る負債	1,785	1,819
役員退職慰労引当金	14,800	15,199
その他	27,258	29,330
固定負債合計	167,547	148,302
負債合計	1,325,816	1,322,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	517,040	517,040
資本剰余金	119,189	119,189
利益剰余金	△125,493	△130,019
自己株式	△13	△13
株主資本合計	510,722	506,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,421	8,252
その他の包括利益累計額合計	3,421	8,252
新株予約権	1,978	1,978
純資産合計	516,122	516,426
負債純資産合計	1,841,939	1,839,083

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日)
売上高	471,244	473,622
売上原価	331,399	344,339
売上総利益	139,844	129,283
販売費及び一般管理費	128,823	128,603
営業利益	11,021	679
営業外収益		
受取利息	2	2
助成金収入	43	2,868
為替差益	239	-
受取配当金	330	371
貸倒引当金戻入額	2,745	-
違約金収入	2,310	-
その他	580	467
営業外収益合計	6,251	3,709
営業外費用		
支払利息	640	447
社債発行費償却	93	93
為替差損	-	60
その他	213	43
営業外費用合計	947	644
経常利益	16,325	3,745
税金等調整前四半期純利益	16,325	3,745
法人税、住民税及び事業税	5,316	8,271
法人税等合計	5,316	8,271
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,008	△4,526
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	11,008	△4,526



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,008	△4,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,426	4,830
その他の包括利益合計	4,426	4,830
四半期包括利益	15,435	304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,435	304
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	BSサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリアデ ザイン事業	計		
売上高	230,206	73,451	99,129	28,324	65,701	496,812	△25,568	471,244
セグメント利益	17,176	26,618	3,408	16,908	6,117	70,229	△59,208	11,021

(注) 1. セグメント利益の調整額△59,208千円には、棚卸資産の調整額5千円、各報告セグメントに配分していない  
全社費用△59,214千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費  
であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	BSサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリアデ ザイン事業	計		
売上高	236,958	59,820	92,319	32,137	73,078	494,314	△20,692	473,622
セグメント利益	16,501	22,231	868	19,001	3,755	62,357	△61,677	679

(注) 1. セグメント利益の調整額△61,677千円には、棚卸資産の調整額33千円、各報告セグメントに配分していない  
全社費用△61,710千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費  
であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

## (資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分)

2023年8月18日開催の取締役会において、2023年9月27日開催の第34回定時株主総会に「資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の件」を付議することを決議し、同定時株主総会において承認可決され、2023年11月10日にその効力が発生しております。

## 1. 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

当社は、現在生じている利益剰余金の欠損を填補し、財務体質の健全化を図るとともに、将来の剰余金の配当等の株主還元を含む今後の資本政策の柔軟性と機動性を確保することを目的として、会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少し、これらをその他資本剰余金に振り替えるとともに、会社法第452条の規定に基づき、増加後のその他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替え、欠損の填補を行うものであります。

本件は、発行済株式数を変更することなく資本金及び資本準備金の額を減少するものであるため、株主の皆様が所有する株式数や業績に影響を与えるものではありません。

また、今回の資本金及び資本準備金の額の減少において当社の純資産額に変更はございません。

## 2. 資本金の額の減少の内容

## (1) 減少する資本金の額

資本金の額517,040,000円のうち317,040,000円を減少し、200,000,000円といたします。

## (2) 資本金の額の減少の方法

減少する資本金の額317,040,000円をその他資本剰余金へ振り替えます。

## 3. 資本準備金の額の減少の内容

## (1) 減少する資本準備金の額

資本準備金の額17,040,000円のうち17,040,000円を減少し、0円といたします。

## (2) 資本準備金の額の減少の方法

減少する資本準備金の額17,040,000円をその他資本剰余金へ振り替えます。

## 4. 剰余金の処分の内容

会社法第452条の規定に基づき、上記の資本金の額の減少及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件として、当該減少により増加するその他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補に充当いたします。

## (1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 366,532,194円

## (2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 366,532,194円

## 5. 日程

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| (1) 取締役会決議      | 2023年8月18日  |
| (2) 定時株主総会決議    | 2023年9月27日  |
| (3) 債権者異議申述公告   | 2023年10月2日  |
| (4) 債権者異議申述最終期日 | 2023年11月8日  |
| (5) 効力発生日       | 2023年11月10日 |